

別表 3

フグの名称

1	標準和名	トラフグ (フグ科)
	学名	<i>Fugu rubripes rubripes</i> (Temminck & Schlegel)又は <i>Takifugu rubripes</i> (Temminck & Schlegel)
	地方名 A	トラフグ (札幌市) <u>トラフグ</u> 、クマフグ (金沢市) <u>トラフグ</u> (東京都) <u>トラ</u> 、シロ (京都市) <u>シロ</u> 、トラフグ (大阪市) <u>シロ</u> 、テツ、トラフグ (神戸市) <u>トラフグ</u> (広島市) <u>ホンフグ</u> 、トラフグ (境港市) <u>ホンフグ</u> 、シロ、モンフク (徳山市) <u>モンブク</u> 、トラフグ、マフグ (高知市) <u>シロ</u> 、ホンフグ (下関市) <u>ダイマル</u> 、シロマル、シロフグ、ホンフグ (北九州市) <u>トラフグ</u> 、モンフグ (宮崎市) <u>トラフグ</u> (枕崎市) <u>トラフグ</u> (青森市) <u>トラフグ</u> 、シロ (仙台市) <u>トラフグ</u> 、シロフグ (名古屋市) <u>シロ</u> 、ホンフグ (萩市) <u>トラフグ</u> (福岡市) <u>モンフグ</u> (長崎市) <u>フグ</u> 、マフグ、ダイマル (大分市) <u>クマサカ</u> (浜田市) <u>トラフグ</u> 、トラ (鹿児島)
	地方名 B	イカフグ (富山、浜田) <u>イカフグ</u> (富山県一般、石見浜田) <u>オオフク</u> (備前児島郡呼松) <u>オオフグ</u> (岡山、香川) <u>オオフク</u> (岡山、広島、香川県木田郡庵治、讃州本多郡庵治) <u>オヤマフグ</u> (和歌山県、和歌浦、田辺、白崎、武州羽田) <u>カンバ</u> (有明海) <u>キタマクラ</u> (高知市) <u>クマサカ</u> (男鹿) <u>クマサカ</u> <u>フグ</u> (新潟県石地) <u>クマタカフグ</u> (秋田県象潟) <u>クロ</u> (豊後杵築) <u>クロモンフグ</u> (別府) <u>ケシフグ</u> (豊前中津) <u>ゲンカイ</u> <u>フグ</u> (下関、大分県長洲、壱岐、玄海) <u>ドジラフグ</u> (福岡県柳河、有明海) <u>トラフグ</u> (神奈川県三崎、紀州串本、塩屋、周参見、有明海、江ノ島、寺泊、東京) <u>フク</u> (能生、福岡、下関) <u>フグ</u> (能生、有明海) <u>フクツトウ</u> (浦戸) <u>フクト</u> (高知) <u>ホンフグ</u> (別府、下関) <u>マグロ</u> (浦戸) <u>マフグ</u> (下関、広島、明石) <u>モンツキ</u> (下関) <u>モンフク</u> (高知) <u>モンフグ</u> (高知、別府) <u>モンフグ</u> (別府、高知、玄海)
2	標準和名	カラス (フグ科)
	学名	<i>Fugu rubripes chinensis</i> (Abe)又は <i>Takifugu chinensis</i> (Abe)

	地方名 A	ガートラ (札幌市) ガトラ (東京都) <u>カラス</u> 、クロ (京都市) <u>クロ</u> 、カラス (大阪市) <u>クロ</u> 、カラス (神戸市) ヒゲグロ (広島市) <u>ホンフグ</u> 、トラフグ (境港市) <u>ガー</u> 、クロ、カラス (徳山市) カラス (高知市) クロ、 <u>ガーブク</u> (下関市) <u>クロ</u> 、 <u>ガーブク</u> (萩市) <u>ダイマル</u> 、クロマル、ホンフグ、 <u>ガータロ</u> (北九州市) <u>カラスフグ</u> 、クロ、 <u>ガトラ</u> (仙台市) <u>カラスフグ</u> 、クロフグ (名古屋市) カラス (福岡市) クロモンフグ (長崎市) <u>フグ</u> 、 <u>ダイマル</u> (大分市)
	地方名 B	ナメラフグ (秋田県象潟)
3	標準和名	マフグ (フグ科)
	学名	<i>Fugu vermiculare porphyreum</i> (Temminck & Schlegel) <i>Takifugu porphyreus</i> (Temminck & Schlegel)
	地方名 A	<u>ナメラフグ</u> 、マフグ (札幌市) <u>マフグ</u> 、ナメラ (金沢市) ナメラフグ (東京郡) ナメラ (京都市) ナメラ (大阪市) ナメラ (神戸市) ナメタフグ (広島市) <u>ナメタ</u> 、ナメラフグ (境港市) <u>ナメラ</u> 、ナメット (徳山市) <u>ナメラ</u> 、ナメタ (下関市) <u>ナメラ</u> 、ナメタ (北九州市) ナメラ (青森市) ナメフグ (仙台市) ナゴヤフグ (名古屋市) ナメタ (萩市) ナメラフグ (福岡市) ナメラ (長崎市) ナメタ (浜田市)
	地方名 B	クロフグ (小名浜) ショウサイ (東京) ナメタロウ (ナメタロオ) (島根) ナメラ (下関、東京) ナメラフグ (下関) ナラメ (東京) フグ (玄海)、フグト (和歌山市雑賀崎、白浜) フグトン (雑賀崎、白浜) マフグ (神奈川県三崎) メアカ (御畳瀬、高知市) メイジョ (メイジョ) (越後、新潟) モンツキ (広島県加茂郡)
4	標準和名	シマフグ (フグ科)
	学名	<i>Fugu xanthopterus</i> (Temminck & Schlegel) 又は <i>Takifugu xanthopterus</i> (Temminck & Schlegel)
	地方名 A	シマフグ (東京都) シマフグ (京都市) シマフグ (大阪市) <u>キタマクラ</u> 、シマフグ (神戸市) <u>サバフグ</u> 、ゲイシャフグ (徳山市) <u>シマフグ</u> 、 <u>キタマクラ</u> (高知市) <u>シマフグ</u> 、オテラ、オマン、 <u>キタマクラ</u> (下関市) <u>シマフグ</u> 、アオフグ、アオマル (北九州市) シマフグ (仙台市) <u>シマフク</u> 、オテラ、オマン、 <u>キタマクラ</u> (萩市) シマフグ (福岡市) シマフグ (長崎市) <u>キタマクラ</u> (大分市) シマフグ (名古屋市)

	地方名 B	アカメフグ (柳河、中島、有明海) オヤマ (明石) オヤマフグ (和歌山市雑賀崎、和歌山県南部、鳥羽) カンバ (有明海) ゲンカイフグ (須崎、玄海) サバフグ (広島、明石) シマフグ (富山県東岩瀬、新湊、氷見、寺泊、象潟) スゲフグ (長崎) トラフグ (有明海、柳河)
5	標準和名	シヨウサイフグ (フグ科)
	学 名	<i>Fugu vermiculare vermiculare</i> (Temminck & Schlegel) 又は <i>Takifugu vermicularis snyderi</i> (Abe)
	地方名 A	シヨウサイフグ、ゴマフグ (東京都) ナゴヤ、シヨウサイ (大阪市) ナゴヤ (神戸市) ナゴヤ、ナゴヤフグ (徳山市) ナゴヤ (下関市) モフグ、ナゴヤ (北九州市) メアカフグ (青森市) シオサイフグ (仙台市) ナゴヤ (萩市) シヨウサイ (福岡市) ナゴヤ (長崎市) ナゴヤフグ、コマル (大分市) ナゴヤ (浜田市)
	地方名 B	アオシバ (房州高の島) イソフグ (壱岐) カマヤフグ (鳥羽) ガンバ (長崎) ガンバチ (長崎) ゴマフグ (東京) コメフグ (秋田県象潟) シホサイフグ (紀州各地) シホサエフグ (紀州各地) シヨウサイフグ (シヨオサイフグ、シヨオサイフグ) (大阪、東京、江ノ島) シヨサイフグ (シヨサイフグ) (志摩国浜島) シワブク (讃岐国香川郡雌雄島村)、ススメフグ (熊本) スズメフグ (熊本、新潟、福岡県柳河、有明海) チャンフグト (鹿児島) チンチンブク (島根、石見浜、田唐鐘村) ドクフグ (長崎) ナゴヤフグ (三崎、泉州岸和田、伊予国宇和島、石見浜田、玄海、下関)、ナゴヤフグ (広島県) フク (滑川、高知、小野田、熊本) フグ (熊本、小名浜、越後、新発田、有明海) フクツトオ (高知浦戸) フクト (土佐柏島、壱岐、浦戸) フグト (鹿児島、和歌山市雑賀崎、白浜) フグトン (雑賀崎、白浜) マガンバ (長崎) マフク (熊本県、富山県) マフグ (小名浜、肥後国天草郡牛深、富山、東京、有明海)、マメフグ (越後) モフグ (福井県) モブク (福井)
6	標準和名	ナシフグ (フグ科)
	学 名	<i>Fugu vermiculare radialun</i> (Abe) 又は <i>Takifugu vermicularis</i> (Abe)
	地方名 A	ナシフグ、ゴマフグ (東京都) ナゴヤ (大阪市) スナフグ、ナゴヤ (下関市) コマル、ナゴヤ (北九州市) ナゴヤフグ、シヨウサイフグ (名古屋市) ナゴヤフグ (福岡市)
	地方名 B	シヨウサイフグ (東京) ナジブク (柳河) フグト (和歌山市雑賀崎、白浜) フグトン (雑賀崎、白浜)

7	標準和名	コモフグ (フグ科)
	学名	<i>Fugu poecilonotum</i> (Temminck & Schlegel)又は <i>Takifugu poecilonotus</i> (Temminck & Schlegel)
	地方名 A	コメフグ (金沢市) <u>コモフグ</u> 、ゴマフグ (東京都) ナゴヤフグ (高知市) ナゴヤ (下関市) <u>コマル</u> 、ナゴヤ、ヒガンフグ、モフグ (北九州市) ナゴヤフグ (名古屋市) ナゴヤ (大阪市) コモフグ (福岡市) ナゴヤ (長崎市)
地方名 B	カンバ (有明海) ギシフグ (伊予川之江) ギンブク (広島県加茂郡、佐伯郡) コメフグ (富山県新湊、東岩瀬) コモフグ (相模三崎、玄海) ダイコンフグ (玄海、志賀島) ナヅフグ (松島) ヒガンフグ (三崎) フグト (和歌山市雑賀崎、白浜) フグトン (雑賀崎、白浜) ホシフグト (鹿児島) メアカフグ (宮崎県)	
8	標準和名	ヒガンフグ (フグ科)
	学名	<i>Fugu pardale</i> (Temminck & Schlegel)又は <i>Takifugu pardalis</i> (Temminck & Schlegel)
	地方名 A	ヒガンフグ (札幌市) アカメフグ (東京都) アカメ (大阪市) アカメフグ (境港市) モブク (徳山市) <u>ユウヨシ</u> 、ヒガンフグ (下関市) <u>ヒガンフグ</u> 、モフグ (北九州市) ナメラ (青森市) アカメ (仙台市) ナゴヤ (神戸市) ヒガンフグ (福岡市)
地方名 B	アカフグ (富山県氷見) アカメ (館山、天草、東京) アカメフグ (東京、房州館山、肥後天草、陸前渡ノ波、男鹿、白浜) オンビキ (播磨明石地方、明石) サンガツフグ (松島) チンチンフグ (石見那賀郡浜田) トラフグ (富山県魚津、長崎、秋田県象潟) ナゴヤフグ (三崎、淡路) ナメラフグ (玄海)、ヒガンフグ (相模三崎、福岡県柳河、下関、玄海、江ノ島) ヒガンブク (志賀島、寺泊) ヒンガンフグ (三崎、相州三崎) マフグ (三崎、浅虫、天草、有明海、陸奥浅虫、肥後天草、相州三崎) メアカフグ (伊豆) モチダブク (広島県賀茂郡) モフグ (讃岐雌雄島、小野田) モブク (広島県) モンバフグ (但馬浜坂) ヨリトフグ (三重県、相模三崎)	
9	標準和名	クサフグ (フグ科)
	学名	<i>Fugu niphobles</i> (Jordan & Snyder)又は <i>Takifugu niphobles</i> (Jordan & Snyder)
	地方名 A	クサフグ (東京都) アカメフグ (神戸市) アカメフグ (境港市) <u>シヤジャブク</u> 、スナブク、イソフク (徳山市) <u>スナフグ</u> 、ハマフグ、チーチーブク (下関市) <u>コマル</u> 、クサフグ、スナフグ (北九州市) クサフグ (青森市) ハマフク (萩市) クサフグ (福岡市)

	地方名 B	アカメフグ (島根) カンバ (有明海) ギンフグ (富山) クサフグ (三崎、江ノ島) サメ (富山) ショウサイフグ (シヨオサイフグ) (三崎、鳥羽) ジンブク (佐渡ヶ島) スズメフグ (天草、有明海) スナフグ (広島) スナブク (広島県) チイチイフグ (山口) ナシフグ (有明海) ハマフグ (下関) フク (富山県) フグ (浜名湖) フクットウ (高知市) フグト (和歌山市雑賀崎、白浜) フグトン (雑賀崎、白浜) マメフグ (長崎五島) メアカフグ (静浦)
10	標準和名	ゴマフグ (フグ科)
	学 名	<i>Fugu stictonotum</i> (Temminck & Schlegel)又は <i>Takifugu stictonotus</i> (Temminck & Schlegel)
	地方名 A	ゴマフグ (札幌市) サメフグ、サバフグ (金沢市) ゴマフグ (東京都) ゴマ (大阪市) ギンナン、サバフグ (神戸市) ゴマ (徳山市) サバフグ (下関市) ゴマフグ、サバフグ (北九州市) サバフグ (萩市) ゴマフグ (福岡市) サバフグ (浜田市)
	地方名 B	サバフグ (東京、下関、秋田県象潟) サフグ (東北地方) サワフク (富山県) フグト (雑賀崎、白浜) フグトン (雑賀崎、白浜)
11	標準和名	アカメフグ (フグ科)
	学 名	<i>Fugu chrysops</i> (Hilgendorf)
	地方名 A	アカメフグ (東京都) アカメ (大阪市) アカメフグ (境港市) モブク (徳山市)
	地方名 B	アカフグ (志摩御座村) アカメ (高知) アカメフグ (相模三崎、玄海、江ノ島) オキフグ (紀州白崎、辰ヶ浜) ヒガンフグ (下関) メアカ (紀州白崎、瀬戸、二木島、辰ヶ浜)、メアカフグ (紀州塩屋)
12	標準和名	ムシフグ (フグ科)
	学 名	<i>Fugu exascurum</i> (Jordan & Snyder)
	地方名 B	コモフグ (三崎) ナゴヤフグ (三崎)
13	標準和名	メフグ (フグ科)
	学 名	<i>Fugu ocellatus obscurum</i> (Abe) <i>Takifugu obscurus</i> (Abe)
14	標準和名	シロサバフグ (フグ科)
	学 名	<i>Lagocephalus</i> sp. <i>Lagocephalus wheeleri</i> Abe, Tabeta & Kitahama

	地方名 A	ギンフグ (金沢市) サバフグ (東京都) サバフグ (名古屋市) サバフグ (京都市) サバフグ (大阪市) ギンフグ (神戸市) ギンフグ (高知市) <u>キンフグ</u> 、カナフグ (境港市) <u>ギロ</u> 、ギンフグ (徳山市) カナフグ (萩市 (越ヶ浜)) <u>ギロ</u> 、カナト、ギンフグ (下関市) <u>カナト</u> 、シロカナト、ホンカナト、キンカナト (北九州市) シロサバフグ (福岡市) サバフグ (長崎市) <u>カナト</u> 、ギンフグ (大分市) キンフグ (宮崎市) <u>キンフグ</u> 、サバフグ (枕崎市) <u>チャンプク</u> 、サバフグ、キンフグ (鹿児島市) キンフグ (浜田市)
15	標準和名	クロサバフグ (フグ科)
	学 名	<i>Lagocephalus gloveri</i> Abe & Tabeta
	地方名 A	サバフグ (大阪市) サバフグ (高知市) <u>ギロ</u> 、アオカナト、アオマル (下関市) <u>カナト</u> 、クロカナト、アオカナト (北九州市) アオフグ (宮崎市) クロサバフグ (福岡市) カナト (大分市) <u>チャンプク</u> 、サバフグ、クロ (鹿児島市) チャンプク、サバフグ、クロ (枕崎市)
	地方名 B 〔シロサバフグも含む〕	カナト (玄海、下関) カナトウ (志賀島)、キタマクラ (長崎) キロフグ (広島) キロブク (広島県佐伯郡、広島市) キンカンバ (長崎) キンガンバ (長崎) キンキュウ (キンキュウ) (丹波宮津、宮津) キンフグ (玄海、有明海) キンフグ (福井県、長崎県、熊本県三角、有明海) ギンフグ (新潟) ギンフグ (東京、三崎、高知、室戸、長崎、肥後天草郡牛深、下関、鳥羽) ギンブク (高知、室戸、石川県宇出津、長崎県、御豊瀬、広島県賀茂郡、三角、福井、有明海) ギンブク (福井、長崎、三角、柳河、有明海) キンフグト (鹿児島) ギンフグト (鹿児島) クロフグ (長崎) コガネ (銚子) サバフグ (富山県東岩瀬、紀州各地、静岡、長崎、玄海、和歌山県) サバフグ (高知県宿毛、須崎、江ノ島、寺泊) サンキュウ (サンキュウ) (宮津) シオサイフグ (志摩国鳥羽) ショウサイフグ (シヨオサイフグ) (鳥羽) ドクフグ (大村湾) メアカフグ (須崎) ワタルフグ (富山県東岩瀬)
16	標準和名	カナフグ (フグ科)
	学 名	<i>Lagocephalus laevigatus inermis</i> (Temminck & Schlegel)又は <i>Lagocephalus inermis</i> (Temminck & Schlegel)
	地方名 A	カナフグ (東京都) ギンフグ (広島市) <u>キンフグ</u> 、カナフグ (境港市) キタマクラ (高知市) <u>ギロ</u> 、キタマクラ (下関市) カナフグ (北九州市) カナフグ (福岡市)

	地方名 B	アヲフグト (鹿児島) カナフグ (房州高の島、東京、玄海) カナブク (長崎) キタマクラ (長崎) ギロオ (伊予波止浜) タカトオフグ (三崎) ヨリトフグ (三崎)
17	標準和名	ヨリトフグ (フグ科)
	学 名	<i>Liosaccus pachygaster</i> (Muller & Troschel) 又は <i>Sphoeroides pachygaster</i> (Muller & Troschel)
	地方名 A	ヨリトフグ (東京都) ヨリトフグ (北九州市) ミズフグ (大分市)
	地方名 B	チョウチンフグ (愛知県三谷) デデフグ (小田原) ミズフグ (沼津)
18	標準和名	クマサカフグ (フグ科)
	学 名	<i>Lagocephalus lagocephalus oceanicus</i> Jordan & Evermann
	地方名 B	クマサカフグ (新潟県寺泊)
19	標準和名	ホシフグ (フグ科)
	学 名	<i>Boesemanichthys firmamentum</i> (Temminck & Schlegel)
20	標準和名	サザナミフグ (フグ科)
	学 名	<i>Tetraodon hispidus</i> Linnaeus
21	標準和名	モヨウフグ (フグ科)
	学 名	<i>Tetraodon stellatus</i> Bloch & Schneider
	地方名 B	キタマクラ (高知市、下関)
22	標準和名	シロアミフグ (フグ科)
	学 名	<i>Tetraodon alboreticulatus</i> Tanaka
23	標準和名	イシガキフグ (ハリセンボン科)
	学 名	<i>Chilomycterus affinis</i> Günther
	地方名 B	イガフグ (辰ヶ浜、田辺、下関) イシガキフグ (三崎、江ノ島) イバラフグ (周参見、田辺) コンペ (越後、新潟) チョウチンフグ (白浜) トーアバター (沖縄) バラフグ (高知県沖ノ島) バラフクト (高知県沖ノ島) ハリフグ (塩屋、白崎)
	標準和名	ハリセンボン (ハリセンボン科)
	学 名	<i>Diodon holacanthus</i> Linnaeus

24	地方名 B	アバス (奄美) イガフグ (小野田、下関) イバラフグ (富山県魚津、四方、新湊、富山) イラフグ (須崎、安芸、室戸、土佐、高知) イラブク (高知県須崎、安芸、室戸) イラブクト (土佐、須崎、高知) カセフグ (宮古湾) カゼフグ (宮古湾) スズメフグ (福井県高浜) バラフグ (高知、千葉県高島、三崎) バラブク (伊予、愛媛、高知) バラフクト (高知、土佐柏島) バラブクト (高知) ハリオ (ハリヲ) (越後、新潟) ハリセンボ (越後、新潟) ハリセンボン (相模三崎、富山県生地、東岩瀬、富山、江ノ島、寺泊、秋田県象潟) ハリフク (富山県) ハリフグ (茨城県大津、紀州各地、和歌山、鳥羽) ハリブク (広島県)
25	標準和名	ヒトヅラハリセンボン (ハリセンボン科)
	学 名	<i>Diodon liturosus</i> Shaw
	地方名 A	ハリセンボン (金沢市) ハリセンボン (名古屋市) <u>ハリセンボン</u> 、 <u>チョウチンフグ</u> (高知市) シジユウフグ (境港市) <u>ハリフグ</u> 、 <u>イゲフグ</u> (北九州市)
26	標準和名	ネズミフグ (ハリセンボン科)
	学 名	<i>Diodon hystrix</i> Linnaeus
	地方名 B	イノーアバサー (沖縄)
27	標準和名	ハコフグ (ハコフグ科)
	学 名	<i>Ostracion cubicus</i> Linnaeus
	地方名 B	ウミスズメ (白崎) カワフグ (高知県安芸) キツネ (富山県新湊) コウコウフグ (玄海) コウゴウフグ (広島県加茂郡) コウゴウブク (志賀島) コウゴウヲ (和泉地方) コウボウフグ (小野田) ゴオゴオフグ (広島県賀茂郡) コオボオフグ (小野田) コゴウオ (コゴウヲ) (和歌山県田辺、塩屋、辰ヶ浜) ゴコウオ (高知) コゴメフク (高知) コゴメフグ (高知) コブク (富山県東岩瀬) コンゴウフグ (柏島) シュウリ (シュウリ) (和歌山県、紀州鉛山、周参見、串本、西向、木ノ本、二木島) シュウレ (シユウレ) (太地) スッポ (スツポ) (鹿児島) セキフグ (鹿児島) ハコシュウリ (ハコシユウリ) (紀州木ノ本) ハコシユウレイ (ハコシユウレイ) (和深) ハコフグ (神奈川県三崎、東京、下関、室戸、江ノ島、寺泊) ハコマクラ (和歌山市雑賀崎) マクライオ (有明海) マックワバク (沖縄) モチゴメブク (宿毛) モチゴメユオ (高知県須崎) モモシュウリ (尾鷲) ヨメジョウフグ (津屋崎)
28	標準和名	サンサイフグ



学名	<i>Fugu flavidus</i> (Li, WANG & Wang) 又は <i>Takifugu flavidus</i> (Li, Wang & Wang)
地方名	イロモノ、モフグ、ウグイス、アカボシフグ、コウライフグ

- 注1) 標準和名及び学名はシロサバフグ及びクロサバフグを除き『日本産魚名大辞典』（日本魚類学会編）又は『原色魚類検索図鑑』（北隆館）に基づくものであり、シロサバフグ及びクロサバフグは、現在までの研究報告を基に有毒魚介類に関する検討委員会において検討した結果に基づくものである。
- 2) 学名において、命名者がかっこでくくってあるものは、その人の命名後に属名などの変更があったことを示す。
- 3) 地方名Aは、山口県下関水産事務局の調査結果に基づくものであり、卸売市場で使用される名称で、アンダーラインを付した部分は最もよく使用される名称である。
- 4) 地方名Bは『日本産魚名大辞典』に基づくものである。なお、クロサバフグの地方名Bにはシロサバフグの地方名も含まれているため、ここに地名の記載のあるところにあっては、昭和57年10月22日環乳第68号「ドクサバフグについて」の通知に基づきシロサバフグかクロサバフグかの確認を行っておく必要がある。